

# ボーリング柱状図

調査名 \_\_\_\_\_  
 事業・工事名 \_\_\_\_\_

ボーリングNO.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

シートNO.

ボーリング名	No.3 (No.25+15m-L9m)		調査位置			北緯	36° 38' 57.3000"	
発注機関	栃木県烏山土木事務所 河川砂防部			調査期間	2008-11-26 ~ 2008-11-27		東経	140° 08' 22.8000"
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	116.83 m	角度		地盤勾配		使用機種	ハンマー落下用具	
総掘進長	5.05 m				試験機	ポンプ		
					エンジン			

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m)	測定月日	標準貫入試験				原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度	採取方法	室内試験	掘進月日			
													深	10cmごとの打撃回数	打撃回数	貫入量								
(m)	(m)	(m)	(m)										(m)	0	10	20	30	(m)						
	115.83	1.00	1.00		礫混じり粘土 (CH-G)	褐		軟らかい	火山灰質の粘土である混入礫は 20mmの角礫が主体である含水量がやや多い		1.00					38	50	16						
	115.33	0.50	1.50		風化凝灰角礫岩 (Tb)	暗褐			風化している割れ目が多く礫-柱状コアが主体		1.16					50	50	4						
					凝灰角礫岩 (Tb)				岩盤区分はCL級程度に分類される新鮮であり割れ目は殆どないコア長は最大L=1000mmの長柱状を至す割れ目面は未酸化で良く密着している		2.00					50	50	4						
						暗灰			岩層は 5-300mmの角礫を多く含んでいる		2.04					50	50	3						
									岩盤区分はB級程度に分類される		3.00					50	50	3						
											3.03					50	50	4						11/26
											4.00					50	50	4						
											4.04					50	50	4						
											5.00					50	50	5						11/27
	111.78	3.55	5.05								5.05					50	50	5						